

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関より提供を受けています

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】術後再建腸管例に対するショートタイプのシングルバルーンとダブルバルーン内視鏡を用いた ERCP 関連手技の後方視的多施設共同研究

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門 准教授 岡部義信
診療情報等の提供先：久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門

【研究分担施設・研究責任者】

・社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 消化器病センター センター長 宗祐人

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦 2016 年 3 月から西暦 2020 年 12 月の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院の各診療科
- 3) 対象：術後再建腸管を有しショートタイプのバルーン内視鏡で ERCP 関連処置を行われた方

【診療情報等の項目】

診療情報等：【年齢、性別、病歴、既往歴、治療歴、診断名、血液検査結果、画像データ、合併症 等】
授受の方法：郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】

当院にて施行したシングルバルーン（sSBE）と研究分担施設にて施行したダブルバルーン（sDBE）各々の内視鏡を用いた ERCP 関連手技の 2 施設での治療成績を解析し、各々または比較し有用性、安全性につき考察することが目的です。

※補足：ERCP（内視鏡的胆管膵管造影）とは、内視鏡を用いて胆管や膵管を造影し処置をすることです。消化管手術後の方は、通常の内視鏡では ERCP が難しく、バルーン付きのオーバーチューブと組み合わせたバルーン内視鏡を用いて ERCP が行われます。本邦では 2 種類のバルーン内視鏡があり、バルーンが 1 つならシングルバルーン、2 つならダブルバルーンと言います。

【研究（利用）期間】

久留米大学倫理委員会承認後から 2025 年 3 月 31 日まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

（本学）研究責任者：久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門 准教授 岡部義信

問い合わせ担当者：久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門 助教 寺部寛哉

電話：0942-31-7561